

校長挨拶

「たくましく しなやかに」

上富良野高等学校ホームページにアクセスしていただき、ありがとうございます。

本校は、昭和 23（1948）年に北海道道立富良野高等学校上富良野分校として創立されました。その後、幾多の学科転換等の変遷を経て、昭和 49（1974）年に現在の全日制課程普通科となり、創立 78 年目を迎える歴史ある高等学校です。

これまでの卒業生は 3,600 人を超え、地元・上富良野はもとより、北海道内外のさまざまな分野で活躍されています。

校訓「たくましく しなやかに」は、雄峰・十勝岳の力強さ、そして厳しい風雪の中でも可憐な花を咲かせるラベンダーの爽やかさを表す、本校の教育の根幹を象徴するものです。変化の激しい現代にあっても、時代に流されることなく、自らの足でしっかりと立ち、豊かな心と思いやりをもちながら、「たくましく しなやかに」生き抜く人間の育成を目指しています。

北海道の中央に位置する富良野盆地にあつて、「社会を生き抜く『生きる力の育成』」「自らをより良い高みに導く『豊かな人間性の育成』」をスクールポリシーに掲げる本校は、「四季彩のまち・かみふらの」の大自然を最大限に活用し、未来を切り拓く人間を大きく温かな心で育ててまいります。

教職員一人一人が少人数教育の利点を活かし、生徒一人一人の個性を尊重しながら、地域とともにその成長を支え、後押し、導き、そして生徒全員が社会へ元気に巣立っていけるよう充実した教育活動を進めてまいります。

私たち教職員一同は、生徒、保護者、そして地域の皆さまの期待と信頼に応えるべく、今後も地域に誇りや愛情を持ち、社会に貢献できる人材の育成に努め、「開かれた学校づくり」「地域とともにある学校づくり」に引き続き取り組んでまいりますので、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

北海道上富良野高等学校長 山内 宣明

